

The Warabi Times

SAITAMA PREFECTURAL WARABI HIGH SCHOOL FOREIGN LANGUAGE DEPARTMENT

VOL. 5: OCTOBER 2019

◆ALT より

Hello everyone, I hope you are all okay after the big typhoon! I can't believe we are halfway through the term already. I was very impressed by your speeches and the debate team this year. I'm sure you will all do great on your exams and finish this term strong. Keep up the great work!

-Annelise

Hi all, I can't believe I am in my third month living here! It is going by so fast, but I am loving it. I am really enjoying talking to you all, it is so interesting and I learn a lot from you. So please keep talking with me. I also really enjoyed watching the speech contest and well done to everyone who took part. All the best on your exams.

-Rebecca

◆校内スピーチコンテスト 10月2日(水) @ 蕨高校 多目的ホール

10月2日に第21回校内スピーチコンテストが行われました。Recitation部門に1年生10名、Speech部門に2年生9名が参加しました。参加者全員が、練習の成果を十分に発揮し、見事なパフォーマンスを見せてくれました。今年は3年生外語からも3名が参加し、パワーポイントを使った素晴らしいプレゼンテーションを見せてくれました。留学生の日本語スピーチも、それぞれの人柄が出た大変見事なものでした。

今回スピーチコンテストに参加してくれたみなさんは、発表者・応援者・オーディエンスに関わらず、なんらかの刺激を受けたのではないのでしょうか。そしてこの場にいなかった人も、授業での発表を通してそれぞれ感じるものがあつたのではないかと思います。少し前にニュース等で大きく報道されていましたが、スウェーデンのグレッタ・トゥーンベリさんのようなみなさんと同年代の人が、世界に向けて声を上げています。自分の考えを表現することは簡単ではありませんが、非常に貴重でかけがえのないことではないのでしょうか。蕨高校では、普通科外国語科を問わず、全員がそうした機会を得ます。これを機に、ぜひ英語での表現力に磨きをかけてもらえたらと思います。

Speech部門での上位入賞者1名は、11月14日に行われる埼玉県スピーチコンテストに蕨高校の代表として出場します。健闘を祈ります！

	Recitation	Speech
第1位	1-9 平野 温花	2-10 ハウ 真璃沙
第2位	1-9 橋本 滯乃	2-10 田中 愛海
第3位	1-3 沖田 実希	2-1 加藤 一真



◆各学年英語科より

< 1 学年 >

後期中間テスト①の結果を見ると、これまで以上に差が開いてしまっていることが気になります。予習⇒授業⇒質問⇒復習のサイクルが定着していて、スタディサプリ ENGLISH が毎日の家庭学習に組み込まれ、多読にも積極的に取り組んでいる生徒はやはり結果を出しています。

『日々の積み重ねの重さ』をそれぞれが感じてほしいものです。小さな事の積み重ねがあつてこそ、遠くに行けるのです。

< 2 学年 >

自分の単語帳は手に入れましたか？単語は4技能すべてに関わってきます。共通テストまで残り1年と100日を切りました。すきま時間を見つけ、コツコツと語彙を増やしていきましょう。単語を覚えていくうちに、どうしても覚えられない単語が出てくるはずですが、その時は、単語カードが有効だと言われています。苦手な単語をカードに書き、何度も目を通しましょう。覚えたらシャッフルして改めて確認してもよいでしょう。

< 3 学年 >

センター試験まで残り100日を切りました。実力に伸び悩んでいる人も多いと思いますが、大丈夫ですので、信じて頑張り続けてください。やることを絞り、やはり授業を大切に、授業中の演習に本気で取り組みましょう。今持っているテキスト等、目の前にあるものを確実に消化して、自分のものにしてください。もう赤本には手を付けていますよね？第一志望は古い年度にもさかのぼって、演習しましょう。文章の中で知らない単語が出てきても、意味を推測する等、思考力も養えるよう毎日コツコツと積み重ねましょう。

◆オーストラリアクイーンズランド州日本語教師来校！

埼玉県とオーストラリアのクイーンズランド州が姉妹都市であること、皆さんはご存じでしたか？毎年埼玉県の高校に研修にいらっしゃるのですが、今年は蕨高校で受け入れることとなり、それぞれ2つのご家庭（2年増田さん、竹下さん）に、ホームステイ先としてご協力頂きました。ありがとうございました！

日本を発つ前に、お二人からメッセージをいただきましたのでぜひ読んでみてください。そして皆さんからの個人的なメールも大歓迎だとおっしゃってくださいました。クイーンズランドが少し近くなったような気がしますね。



Fiona Scarth 先生

蕨高生の皆さん、私はスカース・フィオナです。9月24日から10月4日まで、蕨高校に交換留学しました。クイーンズランド州と埼玉県は姉妹都市で、日本の学校生活について学ぶ経験をいただきました。

私はクイーンズランド州のプリズベンに住んでいて、近くの町でイプスウィッチのレッドバンクプレインズ高校で日本語を教えています。今年からこの学校の生徒たちは日本語の勉強をし始めました。中学一年生（七年生）と中学二年生（八年生）が、日本語と日本文化について学んでいます。生徒は日本の色々なことに興味があって、例えば、アニメ、漫画、ゆるキャラ、J ポップなどで、日本とオーストラリアの違いについてもとても知りたがっています。

蕨高校にいる間にたくさん写真をとって、色々なクラスと科目を見学しました。私が気に入ったクラスは3年10組の時事英語と2年生の地理と体育の授業でした。3年10組の時事英語のクラスに参加した時、生徒たちの社会問題についてのプレゼンを見ました。ディスカッションはすごくおもしろくて、私もその社会問題についてよく考えました。地理の授業は国際産業について学んでいて楽しかったです。体育のレッスンでは皆さん、暑いけれども頑張って学校の周りを走っていました。

蕨高校の校長先生、教頭先生、先生方、そして生徒の皆さん、本当にありがとうございました。この経験を活かして、帰ってから私の生徒に色々なことを教えてあげたいと思います。日本での経験は決してわすれません。プリズベンに来た時にはいつでも、私に連絡してください。

Fiona Scarth email: fscar3@eq.edu.au

Huiqun Hu 先生

蕨高校のスタッフと生徒たちへ

二週間の見学の間に、色々 お世話になりました。毎日、予定の授業に参加したり、部活動を体験したりしました。毎日楽しく 過ごして、充実していました。蕨高校の先生たちは 生徒の進路希望のために、一生懸命に働いています。生徒たちは 自分の目標を叶えるように、全力を尽くして、頑張っています。

それに、部活動で、生徒たちは自分の興味を持つ領域で活躍しています。私も茶道と柔道と剣道を体験してみて、深く 感動しました。オーストラリアの学校で 同じような部活動があったら、絶対に 学校の日本語の教育に役立つと信じています。だから、オーストラリアに帰った後で、うちの学校の他の日本語の先生と日本の文化に関する部活動を行うことについて 相談したいと思います。

オーストラリアの教育制度は日本と違います。オーストラリアの初等・中等教育(小学校から高校)は12年制ですが、1年生から6年生までが小学校、7年生から中学・高校に入学し、12年生までの教育を無料で、受けることができます。でも、10年生で義務教育を修了します。大学などへの進学希望者は11、12年生に進み、将来進む道を考慮して専門分野に沿った選択科目を選びます。

オーストラリアには日本のような形の受験制度はありませんが、進学希望者は12年生終了前に各州の「統一高等学校資格試験」を受け高校修了資格を得た上で、その点数に応じて希望の大学に進みます。入学試験がないので、オーストラリアの学校では、生徒のスキルや興味を満たすために、多様な科目が取り入れられています。学習科目には、国語(英語)、数学、社会、科学、環境学、外国語、コンピューター、保健体育、技術、家庭科、音楽、芸術、演劇などがあります。日本の教育制度とオーストラリアの制度は各々の長所があると思います。

蕨高校の皆さん、いつでもオーストラリアに来てください。オーストラリアや英語の勉強に関する質問があったら、いつでも、メールを出してください。クイーンズランドのヤブーン公立高校から ヨランダ先生より

email: hxhu0@eq.edu.au